

■シリーズ 市民が語る戦争体験 7
「沼津大空襲」岩下佳子さんの体験談

二〇一三年一〇月

通巻
115号

沼津市明治 史料館通信



浅野竹二「立保の富士」(昭和18年作品)
(当館所蔵)

「沼津大空襲」

岩下佳子さんの体験談

岩下（旧姓宮崎）佳子氏略歴

昭和一四年一月 市道町に生まれる。

二〇年四月 沼津市第六国民学校入学

七月一七日 沼津大空襲に遭う

二七年三月 沼津市立第六（現千本）小学校卒業

三〇年三月 沼津市立第二中学校卒業

三三年三月 静岡県立沼津東高等学校卒業

四月 電電公社入社

三六年 結婚



岩下佳子さん
(昭和29年・15歳のとき)

沼津大空襲

沼津でも今から六八年前、昭和二

〇年（一九四五）七月一七日に沼津

大空襲がありました。そのとき私は、

小学校一年生で、まだ六歳でした。

その時は、市道町に住んでいました。

千本小学校のあるほうです。

夜中に空襲の知らせを聞いて「戦

争だ」ということで、家にいても危

ないから逃げようということになっ

て、とにかく千本のほうへ逃げよう

と、家族みんな、お兄ちゃんやお母

さんといっしょに外に出たら、もう

空は真っ赤になっていて、大きな飛

行機、B 29がたくさんブンブン

ブン飛んできていました。その飛行機から爆弾がいっぱい落ちてきて、落ちた爆弾でそこらじゅうが燃え上がっていました。すごく怖かったことを覚えています。

「ここにいたらやられる」ということ

とで、囚人堀（現新中川）を目指して、千本浜沿いの甲州街道を通過して、逃げました。大勢の人が逃げていて、逃げる間もバンバンバン焼夷弾が落ちてきていました。

焼夷弾は落ちると破裂して、破片

があちこちに飛び散りまして、そう

してゴウゴウと燃えだします。

周りのみんなが、防空頭巾や濡ら

した布団をかぶって逃げていました。

かばんをしょって逃げていた男の子

がいたんですが、そのかばんに焼夷弾の破片があたってかばんが燃え出しちゃったのを見ました。私のお母さんがそのかばんをはらってあげました。道の脇にうずくまっちゃって

いる人もいました。

囚人堀に着くと大勢の人が川の中

に隠れていました。わたしも河原に

逃げようと思って歩いていたら、近

くに焼夷弾が落ちて、その破片が、

右足の小指に刺さって抜けなくなっ

てしまいました。「痛いよ。痛いよ。

痛いよ。」と言って、歩けなくなっ

てしまいました。すぐに手拭いで縛っ

て止血しましたけど、とにかく痛く

て、歩けませんでした。周りにはい

っぱい怪我した人がいました。

用語解説

沼津の空襲

沼津が最初に空襲されたのは昭和二〇年（一九四五）一月九日。大手町など市内一〇か所に二五〇キロ爆弾が投下され、五名の死者と二九名の重軽傷者を出した。四月一日の空襲では通横町など市内一〇か所に爆弾が投下され、死者一四人、重軽傷者三九人を出した。この時の爆撃による傷痕が御成橋に今も残っている。その後、四月二三日（下香貫・死者九人・重軽傷者三七人）、五月四日（金岡・死者二名）、五月一七日（三枚橋・死者一人、重軽傷者一七人）、五月二十八日（軽傷一人）と七月一七日（後述）、八月三日（大岡日

トラックが一台止まっていて、荷台に大勢の怪我人が乗せられていて、「痛い痛い」とうめいていました。

やがて荷台が怪我人でいっぱいになると、ようやく出発して、吉原（現富士市）の病院に連れて行かれました。

怪我が元で 脚を失う

病院でも何十分か何時間か待たされて、ようやく診察の順番がまわってきましたが、医師は怪我を診るなり「時間が経っていて、手遅れだからフトモモから切断しなきゃダメだ」と言いました。母と祖母が泣きながら切らないように頼みましたが、医師はやはりモモから切断するしかないと言いました。「せめてヒザ下から切ってください。ダメなら再度切断するから」とお願いして、なんとかヒザから下を切断されることになりました。

同じ病院に右腕を切断したお姉さんもいました。お姉さんは「よしこちゃん、脚でよかったよ。私は腕がなくなっちゃったよ。」と言って慰め

てくれました。毎日毎日「イタイイタイ」といって入院生活を送っていました。

九月になってから退院となり、お父さんがリヤカーで迎えに来てくれました。リヤカーに乗って、吉原、原と国道を帰ってくると、見慣れたはずの沼津の街が、焼け野原になっていました。空襲で焼けたあとでバラック小屋が建っている沼津の街を見て、つくづく戦争って怖いなあって思いました。

次の年に、また一年生をやりました。三年生まで松葉杖で通いました。友達がかばんを持ってくれたりしました。四年生になったとき、市役所の人が「義足をつければみんなと同じように歩けるようになるよ」と義足を薦めてくれました。義足をつけることになりました。何か月か経って義足をつけましたが、当時の義足は、腰からベルトで吊っていてとても重かったです。友達がみんな優しく、元気に学校に通えました。

中学生のとき、通知表で体育に五段階で「五」をもらいました。競技ができなかったのと思っていたら、先生が「応援とか一生懸命やったから「五」にしたんだよ」と言ってく

れました。高校も行って、お仕事するにも、座ってできる仕事をということで電話の交換手として電話局に勤めました。

優しい旦那さんに巡り逢えて、富士山も登りました。五合目からですけど。何でも挑戦してみることが大事なことです。

思いやりのある方に恵まれて、これまで生きてきましたが、つらかったことを忘れることはできません。

今も世界中で戦争をしています、絶対にしてはならないと思っています。命を大切に。世界を平和に。



空襲を受けた沼津市街地
(昭和20年7月 大野寛良氏寄託)

吉、死者二名、軽傷者四名）と空襲が続いた。

このうち七月一七日未明の空襲は大規模な焼夷弾爆撃であった。いわゆる「沼津大空襲」である。アメリカ第二〇航空軍第五八航空団の一二〇機によって一時間四分間に九〇八〇個、一〇三六トンの焼夷弾が投下された。この時の爆撃中心点は狩野川の屈曲点の北西（大手町交差点辺りか）とされ、中心点から半径一二〇〇メートルを半数必中界（約半数が着弾すると想定した領域）とされた。

沼津の街は文字通りの焼け野原となり、死者二七四人、重軽傷者五〇五人、住宅全焼九二二八戸の被害を出した。焼夷面積率は八九・五％で、これは富士市に次ぐ第二位の数字である。

お詫びと訂正

「通信」114号で誤りがありました。

- ・ 2頁下段
「石沢宗哲」→「石坂宗哲」
- ・ 3頁上段
「御殿医」→「御典医」
お詫びして訂正いたします。

企画展のお知らせ

平成25年度第2回企画展「新収資料の公開」

近年収集した資料を紹介します。

会 期：平成25年12月21日(土)～平成26年2月23日(日)

場 所：3階展示室

観覧料：大人200円 小人100円（市内小・中学生無料）

<ギャラリートーク>

当館学芸員が展示資料の解説をします。

日 程：12月21日(土)・1月11日(土)・2月8日(土)の11:00から

場 所：明治史料館3階展示室 参加費：無料（観覧料はかかります） 申 込：不要

同時開催

市制施行90周年記念特別展 「近代沼津人物列伝」

好評につきリバイバル展示！
ご要望にお応えして記録集も刊行！

場 所：4階展示室



歴史講演会

講 師：荒川章二氏（国立歴史民俗博物館教授）

テーマ：「沼津市制90年のあゆみ」

日 時：平成26年1月25日(土)

13:00開場 13:30開演

場 所：沼津市明治史料館2階 講座室

定 員：100名（要申込・先着順）

申込み、問い合わせ先：沼津市明治史料館

休館のお知らせ

12月2日(月)から9日(月)までの間、館内燻蒸のため休館となります。

夏のイベント結果

夏休み子供向けイベントに今年もたくさんの方に参加していただきました。

「戦時中の暮らしを体験しよう」 8月7日(水)実施 参加数17名

「戦争を考える史跡めぐり」 親子 8月9日(金)実施 参加数22名

中学生 8月11日(日)実施 参加数7名

「中学・高校生のための一日学芸員体験講座」

8月6日(火)、8日(休)実施 参加数8名



博物館学芸員実習

8月27日(火)～9月7日(土)の期間、4名の学生が学芸員資格取得のための博物館実習を行いました。ぬましんストリートギャラリーの館蔵資料展や津波浸水予想域模型の展示を担当してもらいました。



▲津波浸水予想域模型の展示作業

▲ぬましんストリートギャラリーでの展示作業



津波浸水予想域立体模型展示
会期：平成25年9月7日(土)
～10月10日(休)

沼津市明治史料館 今月の展示のご案内
1/200000～1/200000
第4次地震被害想定
津波浸水予想域の立体模型
10月10日(木)まで

ぬましんストリートギャラリー
「沼津市制90周年記念「沼津市の足跡」」
会期：平成25年9月3日(火)～10月1日(火)

沼津市明治史料館通信

第115号

平成25年10月25日

編集・発行 沼津市明治史料館
〒410-0051 沼津市西熊堂372-1
TEL055-923-3335
FAX055-925-3018

印刷

みどり美術印刷株式会社

「そろくん」ぬりえ展示中!

夏休み期間中、館内ロビーに設置した「そろくん」のぬりえコーナー。

集まったぬりえをロビーで展示中です。

ぜひ見に来てください。

